

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 3 0 日

鳥取県知事 平井 伸治 殿

報告者

住 所 鳥取県倉吉市旭田町34番地2
 株式会社 井 中 組
 氏 名 代表取締役 井 中 紳 二
 電話番号 0858-22-6141

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

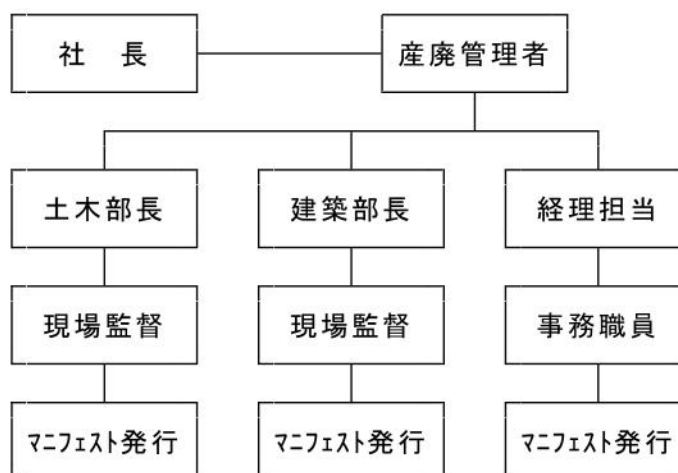
事業場の名称	株式会社 井 中 組
事業場の所在地	鳥取県倉吉市旭田町34番地2
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 3 1 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業
②事業の規模	昨年度の完成工事高 2,353,539 千円(R05.4~R06.3)
③従業員数	80 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物全般 ・再生処理業者へ委託 → 再生骨材として再資源化 ・再生できないものは最終処分委託 → 埋立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	
	(これまでに実施した取組) 工事の設計以上に産業廃棄物が発生しないように各現場で注意するようにしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	
	(今後実施する予定の取組) 工事の設計以上に産業廃棄物が発生しないように各現場で注意するようにする。		

産業廃棄物の分類に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設混合廃棄物以外はすべて分別し、他の廃棄物と混合しないようにしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) これまでと同様に分別を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	1920 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	1920 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 再生利用可能なものは、再生利用処理業者へ委託している。 マニフェストによる最終処分の確認を徹底している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	992 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	972 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>可能な限り、再生利用処理業者へ委託している。 マニフェストによる最終処分の確認を徹底する。</p>		

別添

R05年度搬出

	発生量の目標	①産業廃棄物 発生量	②自己直接 再生利用量	③自己直接 埋立処分又は 海洋投棄量	④自己中間 処理量	⑤自己中間 処理残さ量	⑥自己中間 処理後 再生利用量	⑦自己中間 処理後直接 埋立処分又は 海洋投棄量	⑧委託処分量		
									再生	中間処理 (再生以外)	最終処分
廃プラスチック		5.0	14.0							14.0	
小計		5.0	14.0						0.0	14.0	0.0
ゴムくず											
小計		0.0	0.0						0.0	0.0	0.0
金属くず		5.0	5.0						5.0		
小計		5.0	5.0						5.0	0.0	0.0
ガラス・陶磁器 くず		2.0									
小計		2.0	0.0						0.0	0.0	0.0
がれき類	コンクリートくず	350.0	1,062.0						1,062.0		
	アスファルトくず	610.0	502.0						502.0		
	がれき類		21.0							21.0	
小計		960.0	1,585.0						1,564.0	21.0	0.0
汚泥			1.0							1.0	
小計		0.0	1.0						0.0	1.0	0.0
木くず		10.0	279.0						279.0		
小計		10.0	279.0						279.0	0.0	0.0
紙くず											
小計		0.0	0.0						0.0	0.0	0.0
繊維くず			1.0							1.0	
小計		0.0	1.0						0.0	1.0	0.0
廃油											
小計		0.0	0.0						0.0	0.0	0.0
電線くず											
蛍光管											
建設混合廃棄物											
	可燃物		35.0							35.0	
	不燃物										
	無分類	10.0									
小計		10.0	35.0						0.0	35.0	0.0
計		992.0	1,920.0						1,848.0	72.0	0.0

1. 前年度の産業廃棄物発生量

	コンクリートくず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	金属くず	木くず	アスファルトくず	廃プラスチック類	混合廃棄物	汚泥	廃石綿
産業廃棄物発生量	1062		21	5	279	502	14	36	1	

2. 本年度の目標

	コンクリートくず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	金属くず	木くず	アスファルトくず	廃プラスチック類	混合廃棄物	汚泥	廃石綿
①産業廃棄物発生量	350	0	7	5	10	600	5	10	5	0
②自己直接再生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③自己直接埋立処分又は海洋投入量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④自己中間処理量										
⑤自己中間処理残さ量										
⑥自己中間処理後再生利用量										
⑦自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量										
⑧直接委託及び自己処理後委託処分量	350	0	7	5	10	600	5	10	5	0
⑨⑧の内再生利用者への処理委託量	350	0	7	5	10	600	0	0	0	0